

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 3-2-3

事務事業名	道路・河川パトロール事務	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ of 事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

住民の円滑な道路交通網の確保、河川環境の保全及び居住環境の確保を図るため、資機材等の運搬に必要なシングル・ダブルキャブを維持するための事務である。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

道路及び河川のパトロールの強化、円滑な道路交通網の確保及び河川環境の保全、向上を目指すため、今後についても維持管理していく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	980,159	699,169	973,000	973,000	973,000	973,000
		事業費計(A)	円	980,159	699,169	973,000	973,000	973,000	973,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.3099	0.3190				
		人件費計(B)	円	2,410,887	2,487,547				
		トータルコスト(A+B)	円	3,391,046	3,186,716				

事務事業名	横断歩道橋維持管理・除排雪事業	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 巡回警備は1日3回、歩道橋、エレベーターは1日1回、ガラス清掃は年2回委託、エレベーター点検は月1回の遠方監視の委託、除排雪作業の委託</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 不特定多数の通行人、車いす利用者及びJR北海道旅客等車両</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 通行人、車いす利用者の利便性の向上と安全性の確保並びにJR北海道旅客等車両の安全運行</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 通行人、車いす利用者の利便性の向上と安全性の確保並びにJR北海道旅客等車両の安全運行</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 清掃回数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 道路利用者(町民)	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 通行止め期間	日
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
② 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	1,765,861	1,841,917	2,242,000	2,242,000	2,242,000	2,242,000
	事業費計(A)	円	1,765,861	1,841,917	2,242,000			
人件費	正職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0684	0.0519				
	人件費計(B)	円	532,122	404,714				
	トータルコスト(A+B)	円	2,297,983	2,246,631				
活動指標	①	回	365	365	365	365	365	365
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,660	18,540	18,540	18,540	18,540	18,540
	②							
	③							
成果指標	①	日	0	0	0	0	0	0
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	38.4	38.1	-	-	-	-
	②	%	47.9	52.2	70.7	70.7	70.7	70.7
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 駅東跨線橋のエレベーターは平成11年に施工されたものであり、平成31年で20年経過となる。25年経過を目途にエレベーターの制御盤等の部品が製造中止となることから、利用者の安全性を考慮し、エレベーターを更新する必要がある。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 「めむろーど」及び駅舎と一体化した管理委託を行うことについては変更はない。 駅東跨線橋のエレベーターは平成11年に施工されたものであり、平成31年で20年経過となる。25年経過を目途にエレベーターの制御盤等の部品が製造中止となることから、更新計画を立てる。</p>
---	---

事務事業名	街灯維持管理事業	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 市街地・郊外地における照明灯の球切れ等の修繕及び照明灯の改築工事を実施する。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 修繕対象街灯設置数</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 定期的なパトロールの実施により球切れ等の現状を把握し、適切な修繕を行うことにより、道路利用者の事故を未然に防止するなど安全性を向上させる。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 市街地や郊外地の公共土木施設付近(橋りょう)や局部照明の設置により、事故が減少し、道路利用者の夜間における安全性が確保される。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 修繕発注件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 修繕発注件数	件
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 道路利用者(町民)	人
② 修繕発注電球数量	個
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
② 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	80,468,696	82,030,778	79,888,000	79,888,000	79,888,000	79,888,000
	事業費計(A)	円	80,468,696	82,030,778	79,888,000	79,888,000	79,888,000	79,888,000
人件費	正職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.1953	0.3166				
	人件費計(B)	円	1,519,349	2,468,832				
	トータルコスト(A+B)	円	81,988,045	84,499,610				
活動指標	①	件	43	64	40	40	40	40
	②							
	③							
対象指標	①	件	43	64	40	40	40	40
	②							
	③							
成果指標	①	人	18,660	18,540	18,540	18,540	18,540	18,540
	②	個	566	236	200	200	200	200
	③							
上位成果指標	①	%	38.4	38.1	-	-	-	-
	②	%	47.9	52.2	70.7	70.7	70.7	70.7
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 照明灯は年々老朽化していることから年次計画により、省エネや長寿命化を図るためLEDへの改築工事を行い、灯具の電柱添架により事業費の軽減を図る。また、ランプの球切れの際には省エネ効果の高いセラミック電球や長寿命化ナトリウム電球に交換していくとともに、倒壊等の恐れのある照明柱は速やかに撤去し、第三者被害防止の措置を行い、電柱添架により設置していく必要がある。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 今後においても年次計画により緊急性の高い路線から省エネや長寿命化を図るためLEDへの改築工事を行う。その際には、電柱への添架等により事業費の軽減を図る。また、2019年には、道道2丁目通歩道整備工事が完了したため、歩道照明灯3基を設置し、夜間における道路利用者(通学)の安全性を向上させる。</p>
---	--

事務事業名	災害復旧事業(道路橋りょう施設)	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約			公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 台風被害によって被災した施設等の原型復旧を行うもの。
2. 対象(何を対象にしているか) 被災した道路、橋りょう。
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 台風被害によって被災した施設等の原型復旧を行い、住民の生活を維持する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 清掃回数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 道路利用者(町民)	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 通行止め期間	日
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
② 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円	584,562,000					
	地方債	円	137,180,000	190,000,000				
	その他(使用料等)	円	2,179,904					
	一般財源	円	61,337,607	80,000	0			
	事業費計(A)	円	785,259,511	190,080,000				
	人件費							
正職員従事人数	人	3	4					
人工数(業務量)	人工	1.0300	0.2114					
人件費計(B)	円	8,012,952	1,648,487					
トータルコスト(A+B)	円	793,272,463	191,728,487					
活動指標	①	回						
	②							
	③							
対象指標	①	人						
	②							
	③							
成果指標	①	日	0	0	0	0	0	0
	②							
	③							
上位成果指標	①	%						
	②	%						
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 駅東跨線橋のエレベーターは平成11年に施工されたものであり、平成31年で20年経過となる。25年経過を目途にエレベーターの制御盤等の部品が製造中止となることから、利用者の安全性を考慮し、エレベーターを更新する必要がある。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 「めむろーど」及び駅舎と一体化した管理委託を行うことについては変更はない。 駅東跨線橋のエレベーターは平成11年に施工されたものであり、平成31年で20年経過となる。25年経過を目途にエレベーターの制御盤等の部品が製造中止となることから、更新計画を立てる。
---	--

事務事業名	町道・歩道・駐車場等維持管理事業	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 町道・歩道・駐車場を安全に使用するための維持管理事業であり、町道草刈、清掃、区画線、標識、スノーポール、防雪柵、橋梁等の維持管理。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 町道、歩道、駐車場、橋りょう等の公共土木施設</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ライフラインである町道、歩道、駐車場及び橋りょうについて適切な維持管理を行うことで安全性の確保や施設の長寿命化を図る。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 住民への円滑な道路交通網の確保及び河川環境の保全、居住環境を確保する。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 維持補修実施件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 道路延長	km
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 維持補修実施率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
② 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	141,412,021	156,819,247	158,085,000	158,085,000	158,085,000	158,085,000
	事業費計(A)	円	141,412,021	156,819,247	158,085,000	158,085,000	158,085,000	158,085,000
人件費	正職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	1.3481	1.6062				
	人件費計(B)	円	10,487,632	12,525,071				
	トータルコスト(A+B)	円	151,899,653	169,344,318				
活動指標	①	件	493	506	500	500	500	500
	②							
	③							
対象指標	①	km	923	923	923	923	923	923
	②							
	③							
成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	38.4	38.1	-	-	-	-
	②	%	47.9	52.2	70.7	70.7	70.7	70.7
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 平成27年から道路施設維持管理業務を民間委託し、道路及び河川のパトロールの強化、円滑な道路交通網の確保及び河川環境保全の向上を目指している。本委託業務を実施してから4年が経過し、その間に受託業者と意見交換や情報共有を行ない、業務内容の追加、見直しを実施したことから、業務内における工種については概ね確定したものと考える。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 道路施設維持管理業務内容(工種)が概ね確定したことから、今後は継続的な業務を実施するため、受託業者と密に打合せや定例会を開催し、業務内容を精査することで道路維持管理の徹底化を行ない、道路利用者など第三者被害防止と円滑な道路交通網の確保を図る。 また、経年劣化に伴う公共土木施設の破損が著しいことから、H30に策定した道路マスタープランに基づき「道路整備規準」の見直しを行い、整備延長の推進とコスト縮減の観点から効率的かつ安全性に配慮した整備手法を検討し、維持修繕計画を立てていく。</p>
---	---

事務事業名	町道・歩道・駐車場等除排雪事業	所属部門	建設都市整備課 土木維持係
町長公約			公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町道の通行・安全を確保するための除排雪事業。 除排雪の委託、町道・歩道・公共駐車場の除排雪及び吹き溜まり除雪を行っている。
2. 対象(何を対象にしているか) 除雪を実施する町道、歩道及び駐車場
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 降雪時に除雪を行ない通行の安全を確保する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 安全な通行の確保が図れる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	道路延長	m
②	歩道延長	m
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	除雪道路延長	m
②	除雪歩道延長	m
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	除雪道路率	%
②	除雪歩道率	%
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	99,770,400	54,216,000	52,767,000	52,767,000	52,767,000	52,767,000
	事業費計(A)	円	99,770,400	54,216,000	52,767,000	52,767,000	52,767,000	52,767,000
人件費	正職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.3016	0.3743				
	人件費計(B)	円	2,346,317	2,918,773				
	トータルコスト(A+B)	円	102,116,717	57,134,773				
活動指標	①	m	922,700.00	922,705.36	922,705.36	922,705.36	922,705.36	922,705.36
	②	m	109,739.18	110,849.37	110,849.37	110,849.37	110,849.37	110,849.37
	③							
対象指標	①	m	666,300	667,800	667,800	667,800	667,800	667,800
	②	m	72,200	72,200	72,200	72,200	72,200	72,200
	③							
成果指標	①	%	72.2	72.3	72.3	72.3	72.3	72.3
	②	%	65.8	65.1	65.1	65.1	65.1	65.1
	③							
上位成果指標	①	%	47.9	52.2	70.7	70.7	70.7	70.7
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 道路利用者の安全を確保するため、迅速に町道等について除排雪を行う必要がある。 また、除排雪に関する町民からの要望が多様化・増加傾向にあることから、通勤・通学時間に除雪が間に合うよう降雪状況に合わせて、直営と委託業務により、きめ細かい除雪を行うとともに、除雪開始時間の調整等の柔軟な対応を行う必要がある。 また、近年の降雪時期の早期化に伴い、平成30年度から委託開始を1ヶ月前倒し、11月から最低保証契約として実施している。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 町民からの要望、要求に対応すべく、委託業務の拡大の有無を検討していく。
--	--